

府中市生涯学習審議会（平成28年度第2回）会議録

1 日 時 平成28年7月20日（水）午後3時～5時

2 場 所 旧保健センター分館3階 会議室

3 出席者（敬称略）

（1）委員12名

荒金恵一委員、大谷久知委員、奥野英城委員、木内直美委員、相良恵子委員、
関口美礼委員、武野純子委員、寺谷弘壬委員、中西裕子委員、中村洋子委員、
新島 香委員、三宅 昭委員

※鈴木映子委員、鶴田知佳子委員、長畑 誠委員は欠席。

（2）職員2名

宮崎生涯学習スポーツ課長補佐、山崎事務職員

4 開 会

5 報告事項

（1）配布資料の確認

- ① 第7期府中市生涯学習審議会委員名簿
- ② 平成28年度第1回会議録（案）
- ③ 答申素案（家庭教育分野）
- ④ 答申素案（社会教育関係団体）
- ⑤ 都市社連協理事会資料
- ⑥ 第58回全国社会教育研究大会千葉大会開催要項
- ⑦ （一社）全国社会教育委員連合の概要

（2）教育分野選出委員の紹介

小島委員に代わり、中西委員が選任された。

（3）前回会議録の確認

前回会議録について、市民に公開することが了承された。

（4）都市社連協第1回理事会について

（事務局） 7月19日に八王子クリエイトホールで開催され、寺谷会長と事務局の宮崎が出席した。内容としては、まず、今後の都市社連協の

会議日程について別紙のとおり報告があった。全体会としては、12月17日に交流大会、翌年4月22日に定期総会が予定されている。また、府中市が所属する第5ブロック研修会は9月10日ということで幹事市の武蔵野市から報告された。ブロック研修会の内容としては、各市で取り組んでいる社会教育関係の事業を取り上げるとのことだった。その他、社会教育委員の全国大会兼関東甲信越静大会（千葉大会）が10月26日から28日まで開催されることが報告された。また、関東甲信越静大会については平成33年の幹事市が府中市となる予定であるため、ぜひ委員の皆様にはご参加いただきたい。

最後に、(一社)全国社会教育連合会の財政状況が悪化しており、社会教育委員から任意で寄付を募りたいという流れになっていた件で、都市社連協では継続審議となっていたが、5月に開催された全社連の総会で方針が決定された。内容としては、社会教育委員1人につき年2,000円の寄付をいただきたい。あくまで任意ということなので、趣旨にご賛同いただける場合はご協力いただきたいとのこと。

(会 長) 全社連の提案については本審議会でも議論してきたが、全社連の総会ではほとんど強制的に採決されたと聞いた。

6 審議事項

(1) 各小委員会開催報告

(会 長) 地域の教育力を活用した家庭教育支援のあり方について、3回小委員会を開催した。参加された委員から報告願いたい。

(委 員) まず、項目として次の4つに分けて検討した。

①家庭教育の定義

②地域の教育力について

③地域の教育力を活用した家庭教育支援のあり方

④地域の教育力の充実

(会 長) 社会教育関係団体についての小委員会の報告を願いたい。

(委 員) まず、現状と課題についてまとめ、その中から施設予約が過熱している事や、施設使用料を無料としてきた支援を改め有料化することで施設利用の平均化を目指すことを中心に議論した。

(会 長) 事務局から、答申素案について説明願いたい。

<事務局が答申素案を読み上げ>

- (委員) 家庭教育分野の素案について内容が薄いように感じる。また、項目2の「地域の教育力」というタイトルが分かりにくいので、他の表現にしたほうが良い。項目3について異存はない。
- (委員) 第3回小委員会の中で話題となった母子手帳を進展させた「親子手帳」の話を盛り込んでもらいたい。
- (委員) 「親子手帳」について補足すると、今では、大学入学の際にどんな予防接種を受けたのか、どんなボランティアをしてきたかなどの経歴を示す必要がある。そういったものを「親子手帳」として残していくことが、子どもにとって良いのではないかということで、小委員会で話題となった。
- (会長) それでは、次に社会教育関係団体についての小委員会の報告をいただきたい。
- <事務局が答申素案を読み上げ>
- (委員) 府中市が支援すべき社会教育関係団体の話をしているわけだから、法律上の定義などは不要ではないか。記載するとしても最後に記載するほうが良い。また、項目ごとに箇条書きにしたほうが分かりやすいと思う。
- (委員) 内容としては、小委員会で話し合った内容がまとまっているので、表現方法について各委員のご意見を伺いたいと思う。
- (委員) 全体の意見をいただきたい。
- (委員) 両方の素案については、課題を明確に書いておいたほうが読みやすい。社会教育関係団体については、施設の予約が取りにくいという問題を解消するためには無料枠をなくすべきという方向性だと思うが、スポーツ団体は含まれないという認識で良いのか。
- (委員) 施設予約の取りにくさの問題は主に文化・学習団体に生じている問題であり、スポーツ団体にはさほど大きな問題は生じていないと認識している。ただ、スポーツの社会教育関係団体が文化センターなどを無料で利用する場合は、今回の議論に含まれることとなるだろう。
- (委員) 小委員会の皆さんは、大変苦勞されたと思う。答申を作成するにあたって、まずは現状の分析が必要だと思う。社会教育関係団体の中でもスポーツの団体は問題が生じていない旨を明記したほうがよい。また、今回の素案は一般的な形式で、内容も一般的な内容に終始しており具体性に欠ける。もう少し具体的に何をして欲しいのか

を盛り込む必要があるように感じる。

(委員) 答申の形式としては、2つの答申をまとめたほうが良いと思う。例えば序文(はじめに)の中で、「次の2つの答申を提案する」として、それぞれの答申を並べてはどうか。

(会長) 序文も短いほうが良い。また、他の委員がおっしゃったように、定義は最後にまとめ、表現も平易にしたほうが良いと思うが、今日は、文章表現よりも内容についてご意見いただきたい。

(委員) 家庭教育分野の素案に、「地域で活動する団体との連携」とあり、その中に「わがまち支えあい協議会」という団体名があがっているが、これは今後この組織が重要な役割を担っていくという認識なのだろうか。実は、私はこの活動に参加しているが、今の所この組織がどのような動きをしていくかが定まっていない。そういう組織を答申に盛り込んで良いものだろうか。

また、府中のコミュニティスクールが現在どのような活動をしているのか、把握する必要があると思う。

(委員) ここでいうコミュニティスクールは、府中市の学校で実施しているものを指しているということで良いか。一般的にコミュニティスクールというと地域大学という意味があると思うので、定義を明記する必要があると思う。

(委員) 地域大学や地域の教育力とあるが、地域とはどこまでを想定するのか、それも明記したほうが良いと思う。

(会長) 先ほど委員から話があった「わがまち支えあい協議会」について、小委員会で話題となったワードであるので、ご存じない方のために説明願いたい。

(委員) まだ始まったばかりの活動だが、現在、押立文化センターを中心に車返し地区を対象に、人工1万人を単位として隣組のような感じで、住民同士で住みよい街をつくろうという活動。

(事務局) 補足で、「わがまち支えあい協議会」は地区社協とも呼ばれており、社会福祉協議会が主体となっている。委員のおっしゃったとおり、押立町周辺をモデル地区として、まず自治会、PTA、民生委員などの地域の方々のネットワークづくりをするために、定期的に会議を開催している。福祉施策として行っているので、一人暮らしの高齢者の孤立問題や地区の中で隠れた貧困などが話題として上がりやすい。そういった問題について、見守りを行ったり、組織的な支

援体制につないだりする活動をしている。始まって1年から1年半程度であるが、将来的には高齢者や障害者など弱い立場にある方達を地域を支えられるつながりをつくることを目的としている。

(委員) 素案を読んで、わがまち支えあい協議会についての記述がかなりの比重を占めている印象を受けるが、私はPTAやスクールコミュニティ協議会との連携について、もう少し詳細に記載すべきでないかと思う。確かに家庭教育には地域の力も重要だが、一番身近に気づけるのは学校やPTAだと思う。

(委員) わがまち支えあい協議会の記載があっても良いと思うが、この表現だと市の主催なのか住民主催なのか定かでないので主催は社会福祉協議会であることを明記したほうが良い。また、スクールコミュニティ協議会についても、注釈を入れたほうがより分かりやすいと思う。

(委員) 家庭教育支援や子育て支援は生涯学習スポーツ課以外にも市の他の部署にもまたがる内容であるため、市役所内部の連携の重要性を強調すべきと思う。

(会長) 生涯学習審議会として何ができるのか。特に家庭教育の結びつきに対して、あれもこれもと総花的に問題点を指摘してもどうにもならないと思う。社会教育の範囲で何ができるのかを限定していく必要があるように思う。

(委員) 昨年度中の全体会議の中で印象に残っているのが、家庭教育支援が必要な家庭に行き届いていことが問題だという委員の発言だった。今回の素案には、その問題に対して何とか解決案を模索した内容が含まれていると思う。ただ、個々の文言の表現が少し気になる部分だと思う。

(委員) やはり現状の分析が必要で、現在行っている家庭教育支援の講座などが、今後継続していくべきものなのか、そういった部分から検討が必要だと思う。

(会長) それでは、次回が10月19日の予定なので、それまでにご意見があれば事務局までお伝えいただきたい。本日は以上とします。

7 その他

次回審議会の日程

▽平成28年度第3回審議会

日程：平成28年10月19日（水）午後3時～5時

会場：旧保健センター分館

以上